

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス エンジョイライフつくば		令和7年 3月 17日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		活動内容や余暇の遊びに応じて、テーブルなどを移動する等して空間スペースを作っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。		4	利用定員に対して職員配置は満たしているが子どもの状態に応じて系列他施設からヘルプ依頼をして来てもらうことがある。	事故等起きないようにそれぞれ留意しているが、常備安全を保つ為には職員の増員が望まれる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		入口の段差には簡易スロープを設置。利用者の状態に応じてスタッフが介助している。	トイレの広さが車椅子利用者にとって狭い為改善が必要と考えている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		日々の清掃や消毒を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		毎日支援前にミーティングを行い情報共有している。また、個別支援会議を定期的開催している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		アンケートを行い、保護者の意向の把握や意見をもとに改善に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		日々のミーティング時に、意見交換をしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4		第三者による外部評価は現在行っていないが、今後必要に応じて実施を検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		個人研修や全体研修に定期的に参加している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		保護者との面談やアセスメントシートの中でお子様及び保護者の方のニーズを聞き取り、会議を開いて放課後等デイサービス計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		保護者や職員からの聞き取り及び、アセスメントシートを取り入れている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			

	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		プログラムの担当を決め、毎月のプログラム作成は他の職員から意見や提案を取り入れながら決定している。	
適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		新しいプログラムを随時立案、実施している。また、偏りのないようバランスよく活動に参加できるよう、活動内容を配置している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		集団活動に重きを置いて支援しているが、その中でも、個々に合わせた活動・作業内容を提案できるよう作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		支援開始前には、全職員で活動内容・役割分担の確認、前日の状況等を確認し、共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		支援終了後にはその日の振り返りを行い、共有している。また、その日不在の職員にも共有できるよう、職員間の連絡ノートを作成するなどして工夫している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		毎日、サービス提供記録をとり、支援の検証・改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		保護者との面談、聞き取りを行い、6か月ごとに放課後等デイサービスの計画・評価の見直しを行っている。また、その内容は全職員で共有している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4		社会生活能力向上のために、複数の目標を重層的に設定し支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		児童発達支援管理責任者が参加している。また、医療的ケア児の会議時は看護師も参加するなど、個々に合わせ対応している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		学校が主催する学校説明会等に参加している。学校送迎時に下校時刻、行事予定、その日の子どもの様子などの連絡調整を行っている。また、保護者様にご協力いただき、学校で作成された支援計画のコピーを頂き、共通支援が出来るよう努めている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4		施設との直接の連携はないが、担当の支援員との情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		4		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		4		研修等がある場合は積極的に参加したい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4		社会資源を利用した外出活動等の際に、障害のない子どもと接する機会を提供するに留まり、活動する機会の積極的な提供には至っていない。保護者様からの希望しないとの声もあるため、ニーズを踏まえて検討していく。

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。		4		社協主催のチャレンジアートフェスティバルに参加しているが、機会があれば積極的に参加していきたいと考えている。
関係機関や保護者との連携	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			連絡帳やLINE等のアプリをご利用いただき、家庭や学校での様子、連絡事項などを記入していただいている。SNS等を通じて利用時の様子を発信している。また、送迎時にも当日の様子などをお伝えしながら、共通理解がもてるよう努めている。面談も定期的に行っている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4			送迎時や面談などを通して、施設内での様子や、施設内で行った支援方法等をお伝えしています。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			契約時や支援計画作成時等、丁寧な説明を心がけている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			連絡帳、LINEを活用、また送迎時に利用者様の課題、その日に出来たことをお伝えしながら、共通理解に努めている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		4		望まないとの声もあるため実施していないが、保護者の方のニーズを踏まえて検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			いただいた苦情等については、速やかに再発防止の措置を講じ、保護者様に説明させていただいている。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4			毎月活動予定表、イチオシイベント表を発行している。また、ホームページ、インスタグラム、LINEを通して情報発信を行っている。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			個人情報の取り扱い等、職員間で周知徹底し厳重に管理している。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			絵カードや写真カード等を使用し、視覚的構造化を用いた支援を行っている。また、説明はできるだけ短く、繰り返し行うことを心がけている。
非常時等の	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		地域住民との関わりがそもそも難しく感じている。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		各マニュアルを基に半年に1回程度、避難訓練を実施している。HPに各マニュアルを掲載し、いつでも閲覧できるようにしている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		年に一度、なるべく多くの利用者様に参加していただけるよう防災週間を設け、ご利用者様と避難訓練を行っている。今後も計画的に実施していく。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		看護職員が、必要に応じて医師の指示のもと対応している。	

の 対 応	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		契約時のアセスメントにおいて、必ずお子様の食物アレルギーの有無を確認している。医師の指示書がある場合は、指示書に基づく対応をします。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
非 常 時 等 の 対 応	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		過去の事例等を基に、定期的な事例検討会を実施している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		外部研修、又は内部研修を行い、意識の向上に努めている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		契約時に説明させていただき、必要に応じて緊急やむを得ない身体制限に関する同意書を作成、説明を行っている。	